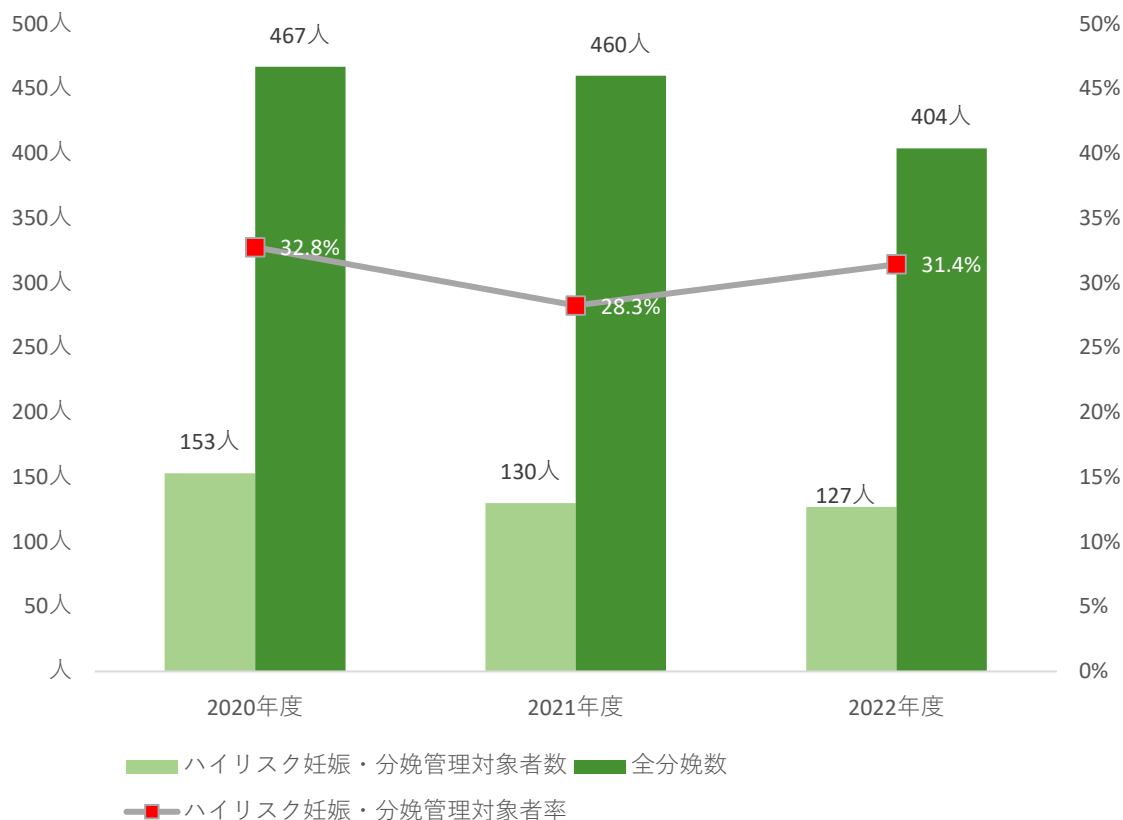


2020年度－2022年度 全分娩中ハイリスク妊娠またはハイリスク分娩管理対象者率年度推移



【指標の説明】

この数値が高ければ、地域における周産期医療で二次・三次の役割を果たしていると思なされます。体制が整備され多くの分娩に対応できる病院では地域への貢献として今後もハイリスク妊娠・ハイリスク分娩に対応することが求められています。

当院では、以前から大学病院というフィールドを活用しハイリスク妊娠やハイリスク分娩をサポートしております。

【計算方法】

分子…分母のうちハイリスク妊娠・ハイリスク分娩管理加算を算定した症例数

分母…全分娩件数

分子／分母 × 100